

生活介護事業所はっこう「開所日」

地域支援第一課 支援員
山中 祥也

9月23日(土)に、9月の開所日で八甲田の菅野茶屋に行きました。

午前中は快晴で気持ちのいい青空が広がっていたため、きれいな山の景色を楽しむことが出来ました。山の木はまだ緑色が多めでしたが、ところどころ赤や黄色の部分もあり、バスに乗りながら「綺麗だね」「早く紅葉にならないかな」という会話が聞こえてきていました。

菅野茶屋に着いてからは、有名な「長生きのお茶」を飲み、希望者は山のお土産屋さんのソフトクリームがジュースを買って飲んだり食べたりしました。涼しめの気候でしたが、皆さん「おいしいね」と言いながら食べていました。

春以来の生活介護はっこう全体での外出だったので、いつもはあまり交流のないグループの利用者さん同士の交流が出来ました。また利用者さんが楽しめるような開所日を企画していきます。



就労継続支援B型事業所はっこう「りんご狩り(開所日)」

地域支援第二課 支援員
久保田 寛人

八甲学園の就労B型では、月に1、2回程、開所日が開催されており、参加を希望された利用者さん達が楽しめるイベントを様々な企画で行なっています。

9月19日の開所日は、「収穫の秋」ということで、利用者さんからのリクエストもあって、青森観光りんご園へりんご狩りに行って参りました。

今回も参加を希望された利用者さんが多く、現地に到着すると、色々な品種のりんごの木がたくさんあり、美味しく収穫することが出来ました。また、運良く美味しそうな梨も出来ており、梨狩りも希望された利用者さん達は梨も収穫し、秋を満喫することが出来た開所日でした。



苦情解決

令和5年度苦情申出状況
 ・サービスの質や量
 (食事内容、サービス提供に関する不満)
 ...0件
 ・利用者の人間関係など
 ...0件
 ・職員の対応(態度、言葉遣い等)
 ...0件
 ・その他
 ...0件
合計...0件

令和5年度9月までの苦情解決申し出は0件でした。利用者の方から寄せられた苦情については、適切な対応により、その解決にあたります。苦情及びその解決については、個人の情報にすぎないや申込者が拒否した場合を除き公表し、八甲学園の改善に努めます。

編集後記

令和5年度第2回目の広報誌を発行することができました。今後も利用者のニーズに応じたサービスを展開して参ります。ご協力のおかげです。お願いたします。今回の題字は、就労支援B型事業所はっこう利用者の世森星吾さんにお願いたしました。

※掲載されている写真はすべて、ご本人・保護者様の了解を得ております。



八甲学園 HPIはこちら

はっこう学園だより

〒030-0132 青森県青森市大字横内字桜峰63番地1号
お問い合わせ: TEL 017-738-2104
FAX 017-738-2116

題字: 世森星 (世森星吾さん)



令和5年度八甲学園なつまつり開催

7月22日(土)、八甲学園にて「なつまつり」を開催いたしました。去年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため児童と通所利用者の方のみで行いましたが、今年は感染者も減少傾向にあり、保護者さんと来賓の方々を招いての開催となりました。

こども達は、日頃練習した歌などを存分に発揮できる場となり、自分らしく堂々と歌を披露し、また、通所利用者の方々が一生懸命に練習を重ねた歌やダンスが披露され、会場にいるこども達は、ステージでの歌やダンスを見て楽しんでいる様子でした。また、中庭ではウィナー盛りやたこ焼き、焼きそば、かき氷、ドリンクなどの模擬店が並び、お祭りがあふれる中、好きなものを選びおもしろいものに食べている様子がみられました。今年もご協力いただいた「麺山」様のテントには、ラーメンを求める方の行列がでび大賑わいでした。

来年度もこども達が楽しめる内容を考え、「八甲学園なつまつり」を開催していきたいと思っております。

こども支援課 支援員 加賀谷 勇気

「こども支援課 夏休み外出」



こども支援課 支援員 加賀谷 勇氣
8月9日(水)、「カラオケ外出」に出掛けました。夏休み行事の一つでもあり、児童は楽しみにしていたようで、外出の数日前から「カラオケに行ったら何を歌おうかな?」と、余暇活動中にも好きな歌を口ずさむ児童もいました。カラオケ店に到着すると、早速好きな曲を探し、伸び伸びとくさんの歌をうたっている様子でした。自分の順番がまわってくるまではジュースを飲みながら仲間の歌を聴き、ノリノリの気分でした。参加した児童からは「また行きたいな〜!」という声も聞かれ、とても楽しかった気持ちも伝わってきました。

夏休み中はカラオケ外出の他、かき氷早食い大会、すいか割り、流しそうめん、おぼけやしき外出など、さまざまな行事が行われ、児童にとって充実した夏休みだったと思います。来年の夏休み行事も児童が楽しめる内容を実施していきたいと思っています。



「就労継続支援B型事業所はっこう 収穫祭」



地域支援第二課 支援員 久保田 寛人
9月28日に利用者さんの交流や心身のリフレッシュ、作業意欲及び生産性の向上を図るため、就労B型の三大自然の一つである収穫祭を行いました。農産ハウス前で昼食を兼ねたバーベキュー形式で予定していましたが、当日の天候が雨となり、今年は体育館にて開催しました。

就労場所がそれぞれ異なり、なかなか顔を合わせる事が無い利用者さん達もいるので、久しぶりに皆さんが揃うのを何日も前から楽しみにしていました。

食事は12時頃から開始し、様々な食材のおにぎりを各自好みで選び、豚汁、焼肉、焼き鳥、かき氷、農産班で収穫した採れたてのナス・カボチャ・ピーマン等の焼き野菜、茹でジャガイモ等々、美味しい食事に利用者の方皆さんも笑顔で会話が弾み、談笑しながらとても和やかな昼食となりました。食事後は事業所に戻り、送迎の時間までビンゴ大会をして、楽しい時間を過ごしました。

日頃、真面目に就労を頑張ってくれている利用者さん達から、今年の収穫祭も好評の声が多く、皆さんにとって良い思い出になった様で大成功の行事でした。



「生活介護事業所はっこう 青森県障害者スポーツ大会」

地域支援第一課 支援員 須藤 明歩
8月27日(日)と9月17日(日)に、生活介護事業所はっこうを代表する利用者さんが青森県障害者スポーツ大会に参加しました。

8月は新青森県総合運動公園で、陸上競技とフライングディスクが行われました。青天の暑い中皆さん張り切って競技に参加してくれました。本番前の練習を頑張った甲斐あって、2種目とも金メダルを取ることが出来ました。表彰式では嬉しそうなお笑顔をみせてくれました。

9月はアオモリボウルでボウリング競技が行われました。皆さん最初の投球は緊張している様子でしたが投げっていくうちにだんだんと笑顔が見られ、利用者さん同士でハイタッチする場面も見られました。後半にはスペアやストライクなどを出し、見事入賞した方もいらっしゃいました。皆さん楽しかったと言ってくれています。

コロナ禍だったと言ったこともあり、今年度は久しぶりの大会参加となりました。また楽しく来年度も参加できればと思っています。



「共同生活援助事業所 サンハウス」



地域支援第二課 支援員 土岐 拓司
共同生活援助事業所サンハウス(定員53名)では、「災害発生時における事業継続計画(Business Continuity Plan)」に基づき、令和5年度よりグループホームでの災害発生時を想定し、利用者が安心・安全に地域での生活を維持できるようにBCP訓練を計画し実施しています。

自然災害や緊急事態が起きた際に、グループホームの被害を最小限に抑えながら、グループホーム事業所として利用者の生活支援の継続を目的に「災害発生時における事業継続計画」というものを作成しています。この「災害発生時における事業継続計画」に基づいた訓練が「BCP訓練」で、グループホームに被害を与えるような事態に遭遇した場合に備えて、利用者の生活とその支援を続けることを目的に日ごろから世話人・支援員・八甲学園本部それぞれが何をすべきか把握し、実践する訓練です。

今年度は、BCP訓練を計3回実施する予定となっており、令和5年6月23日(金)に1回目のBCP訓練を実施しました。内容としては、おくのハウスをモデルケースとして、防災用品・非常食・備蓄品の確認と保管場所の確認を行い、その他9軒のグループホームにも順次対応出来るように課題や必要な事の確認を行いました。

今後も「BCP訓練」を継続して実施し、災害発生時における地域での生活を維持していくことができるように、世話人と支援員が共に協力し利用者を支えることが出来るように取り組んでいきます。

「相談支援事業所あおば」



相談支援専門員 牧野祥詔
利用者の皆様、ご家族の皆様、関係機関の皆様には平素より当事業所の運営に当たり多大なご協力をいただき誠にありがとうございます。相談支援事業所は皆様の協力をいただきながらでなければ様々な支援が難しい事業所です。今後とも皆様のご協力を賜りつつ、もちろん我々相談あおばもスキルアップを図りつつ日々の支援を一杯提供できるようにしていきたいと思っております。

今年5月に新型コロナウイルスがら類感染症になりコロナ前の社会に戻りつつありますが、まだまだ収まっていない状態のようです。感染拡大予防をしっかり意識しつつ日々の支援を行っていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願いたします。

